

ながおか やすこ

長岡 泰子 倉敷中央病院 歯科

**【背景】**

健全な咀嚼能力を維持し健康に生活する為には成年期におけるう蝕と歯周病を予防することが大切である。しかしながら、成年期の内科検診は義務化されているものの歯科検診は義務化されておらず、痛みなどの症状がでてから歯科受診することが多いのが現状であると思われる。そのようなことから従業員の歯科口腔保健の向上を目的として、当院では平成 10 年度より歯科検診を行っている。

**【目的】**

成年期歯科検診及び保健指導を行うことで、歯科口腔保健向上のための行動変容を図る。

**【方法】**

25 歳、30 歳、35 歳、40 歳、45 歳、50 歳、55 歳、60 歳を対象にしたところ当院従業員 2671 名中対象者は 468 名であった。

検診者全員にパノラマ撮影を行い、問診表に現在気になっている事、知りたい情報を記入してもらった。その後、口腔内診査、歯周ポケット測定、歯科保健指導を行い、検診結果の説明を行った。

**【結果】**

歯科検診対象 468 名のうち希望者は 283 名であった。25 歳、30 歳、35 歳で 206 名（男 49 名、女 157 名）に対して 40 歳以上では 77 名（男 20 名、女 57 名）で若年者が多かった。また、う蝕罹患状況は、25 歳男 1.6 本、女 1

本、30 歳男 0.5 本、女 0.3 本、35 歳男 0.5 本、女 0.47 本と男性のほうが多かった。また若年者はポケット 4mm 以下ではあるが歯肉出血や歯石沈着しているものが多かった。また歯科検診後、要治療者は 250 名であったがそのうち、当院歯科を受診し歯石除去やう蝕治療を行っていたものは 83 名（33.2%）であった。一方歯科検診後アンケートでは、毎年の歯科検診希望（現在 5 年毎）や歯科検診が歯科受診をするきっかけとなったなどの感想がよせられた。

**【結論】**

歯科検診後に約 30% の受診者が歯科受診行動をおこしており、行動変容に一定の効果があると思われた。また歯科治療要と推奨したにも拘らず受診していないものが 167 名で（66.8%）であった。今後は、歯科検診を希望しないもの、歯科受診を推奨しても受診しなかったものに対してのアプローチが課題と考えられる。

（連絡先）

長岡泰子

〒710-8602 岡山県倉敷市美和 1-1-1

倉敷中央病院 歯科

E-mail ys5399@kchnet.or.jp